

令和4年度地域と市長のまちづくり懇談会 杉山校区

開催年度回次	令和4年度第29回	開催月日	3月19日	開催校区	杉山校区	開催場所	天津地区津波防災センター
議 題				市の回答			
<p>1. 自治会について</p> <p>若い方が自治会に参加できるような体制づくりを、市と自治連合会で作っていただきたいです。</p>				<p>市民協働推進課</p> <p>これまでのまちづくり懇談会のなかでも、複数の校区から役員選出に苦慮されていると伺っております。</p> <p>現役世代の自治会活動への参加につきましては、お仕事との両立が求められ、自治会活動の負担軽減を考えていく必要があります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行により、活動を中止・縮小せざるを得なかったは残念なことではありましたが、今回中止・縮小した活動について、再開の必要性や、負担を軽減する形での再開方法、役員や行事をまとめるなど、過去のやり方に捉われず、改めて自治会で検討していただくことも必要ではないかと考えております。</p> <p>市としましても、自治会役員の負担軽減のため、依頼事項の見直しに取り組んでおり、来年度につきましては、地域に推薦をお願いしておりました清掃指導員・清掃指導常務委員について見直しを行いました。</p> <p>また今年度は、自治会のデジタル化を応援するため、ZOOMによるWEB会議を体験していただく講習会を開催いたしました。</p> <p>引き続き、市からの依頼事項の見直しに取り組むほか、デジタル化支援としては、SNSなどの体験機会を設けるとともに、情報発信ツールの情報収集とその共有など自治連合会と一緒に取り組んでまいります。</p>			

開催年度回次	令和4年度第29回	開催月日	3月19日	開催校区	杉山校区	開催場所	天津地区津波防災センター
議 題				市の回答			
<p>2. 汐川干潟について</p> <p>汐川干潟を子どもたちが自然にふれ合う野外活動の場所として提案します。</p> <p>また、私達が重きをおく生物多様性の活動場所(天然うなぎ生育環境保護)としての位置付けを考えていただきたいと思います。</p>				<p>環境保全課</p> <p>本市では、平成15年3月に「汐川干潟保全マスタープラン」を策定し、全国に誇ることのできる貴重な干潟の保全に取り組んでいます。</p> <p>汐川干潟は、子どもたちが自然にふれ合うことのできる活動の場として考えており、地元小中学校が環境学習で活用したり、豊橋・田原両市で年2回の汐川干潟自然観察会を実施し、子どもたちを中心に身近に触れ合っただけの機会を提供しています。また、市民と共同し530運動などの保全活動も実施しています。</p> <p>汐川干潟には、天然うなぎなどの希少な生物を始め、様々な生物が生息しており、これらの生育環境を保護していく必要があると考えています。そのためには、地元保全団体など関係者と連携し、保全活動を進めることが重要と考えており、来年度改定予定の「汐川干潟保全マスタープラン」でも位置付けて参ります。</p>			